

# 耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちわ。もうすぐ秋本番。朝晩は冷え込む日も出てきます。くれぐれもご自愛ください。

日常生活の中に登場する仏教用語をお伝えしているかわら版。少しでも読者の皆さんのお役に立てば幸いです。

秋本番は同時に台風シーズン。温暖化等の影響で台風が大型化しており、被害も甚大になるケースが頻発しています。どうぞお気をつけください。

最近の家屋の窓はサッシ等の金属製が多いので、台風が来るからと言って特に何かすることはありません。ステンレス等の雨戸を閉めて、準備万端。

しかし、今から二十年前、三十年前ぐらいまでは、雨風で戸や窓がガタピシ鳴って外れることもあるため、台風が来る前に板を打ち付けて補強する光景が見られました。団塊の世代以上の皆さんは、よくご記憶のことだと思います。最近の若者は「戸がガタピシ

シ鳴る」などという表現はあまり使いませんが、この「ガタピシ」、実は仏教用語です。

漢字で書くと「我他彼此(がたびし)」です。漢字を見ると、意味が何となくイメージできます。自分と他人、あれとこれと、物事が対立して決着しないこと、うまくいかないことを表し、「我他彼此の見」と言います。

音もなく静かに、スムーズに動く戸が理想ですが、戸の建てつけが悪いと、ガタピシと騒々しく、開けるのも閉めるのも、うまくいかないということです。

自分と他人、あれとこれ、というように、物事を対立してとらえることは、その前提として、「自分の考えが正しい」「こちらの方が良い」という判断や価値観があつて起きることです。そうした状況から、さまざまな衝突や摩擦が生じ、争いごとに発展していきま

す。仏教は「此あるが故に、彼あり」と言うように、相互関係を重視した教えです。因縁

と言つてもよいでしょう。

自分も、他人も、あれも、これも、それぞれに思いや主張があります。そのうちのどれかひとつだけが「正しい」「正義」と、どうやって決めることができるのでしょうか。

争いごとは、双方が「正しい」ことや「正義」を主張し合つて起きるものです。「正義」と「正義」を主張し合つて争いになった場合、どちらの「正義」が「正義」でしょうか。

お互いに譲り合わない、「ガタピシ」して物事がうまく進まず、結局争いごとに発展します。人間関係においても、国と国との間でも、同じですね。「いやあ、最近は何となく体がガタピシだ」などという言い方もします。体のあちこち、体と心、それぞれが調和するように、ご自愛ください。それでは皆さん、また来月お会いしましょう。

※



## 大塚耕平の仏教シリーズ好評販売中!

新刊

お遍路さん必携  
—四国霊場と般若心経—  
大法輪閣 / 2017年



ISBN 9784804613994  
定価 本体1,300円+税



仏教通史  
「弘法さんかわら版」講座  
大法輪閣 / 2015年

ISBN 9784804613772  
定価 本体1,400円+税



弘法さんかわら版  
「弘法大師の生涯と覚王山」  
大法輪閣 / 2008年

ISBN 9784804612775  
定価 本体1,200円+税



かわら版執筆者大塚耕平

互山「耕庵」 <https://ko-an.blog/>

〒事務所 ☎052-757-1955 担当:あさひ

〒室市千種区覚王山通9-19 覚王山プラザ2F

